

## SHP ツール バージョン 8.0.4 更新記録

2015/05/28  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>

### 1. MultiPatch

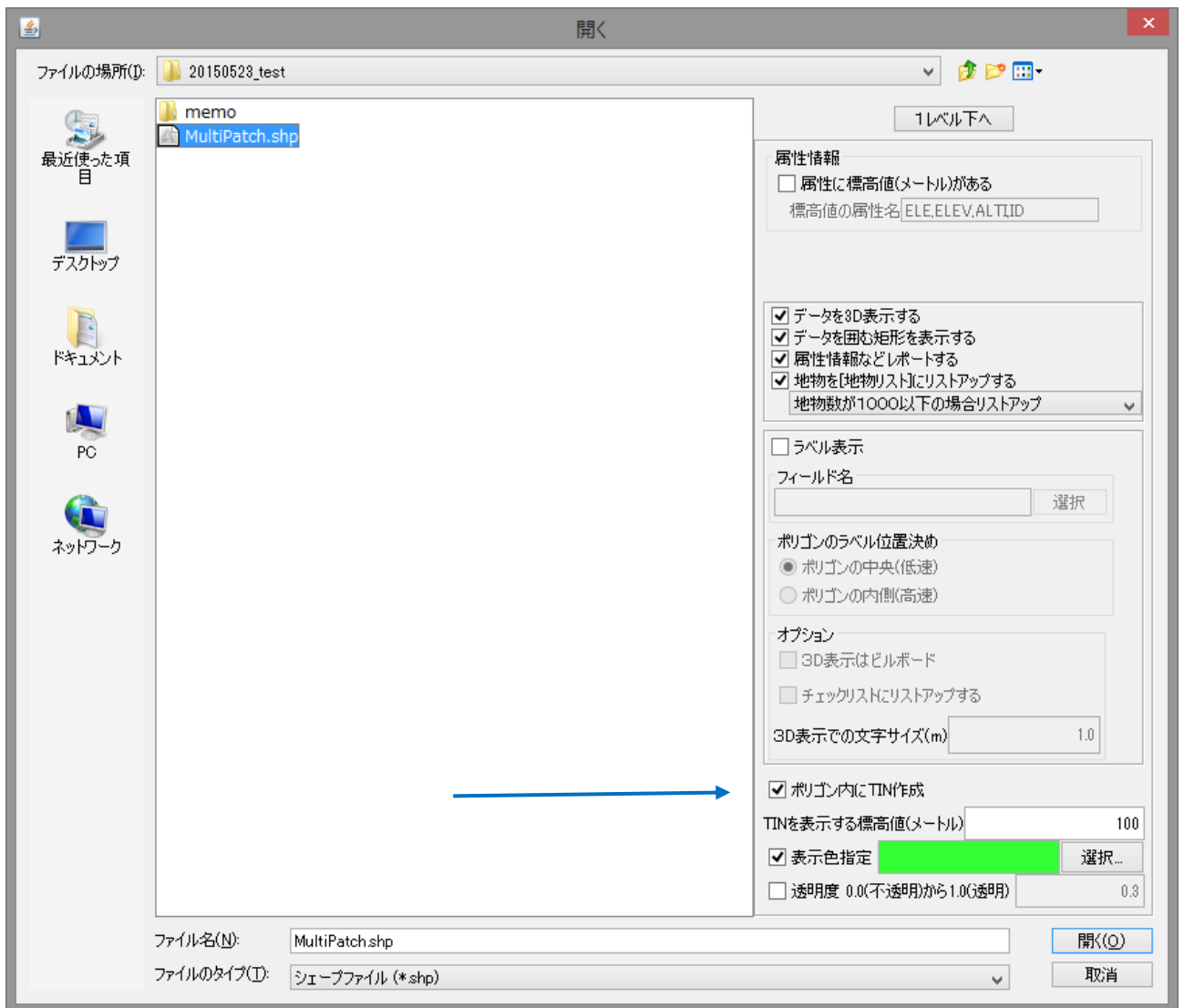
シェープファイルのシェープ・タイプが「MultiPatch」の場合のサポートを開始しました。まだ、一部の機能のみです。以下、説明書からの抜粋です。

シェープファイルのリードでは、MultiPatch の各パート型への対応状況です。

	パート型	対応状況
0	トライアングル・ストリップ	○ 3D 表示、2D 表示では各点列を結ぶ線を表示し、 三角形の標示ではありません。
1	トライアングル・ファン	× 未サポート
2	外周リング	○ 3D 表示、2D 表示では各点列を結ぶ線を表示します
3	内部リング	○ 3D 表示、2D 表示では各点列を結ぶ線を表示します
4	開始リング	× 未サポート
5	リング	× 未サポート

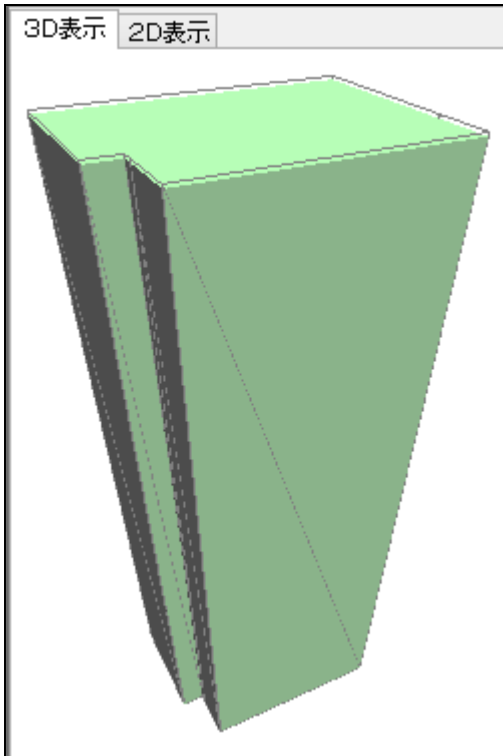
現在、開いて表示できるだけです。表示もファイルに記録されている点列をポリラインとして表示するのみです。  
シェープファイルの保存は未対応です。チェックメニューなども未対応です。

MultiPatch を TIN として表示できます。

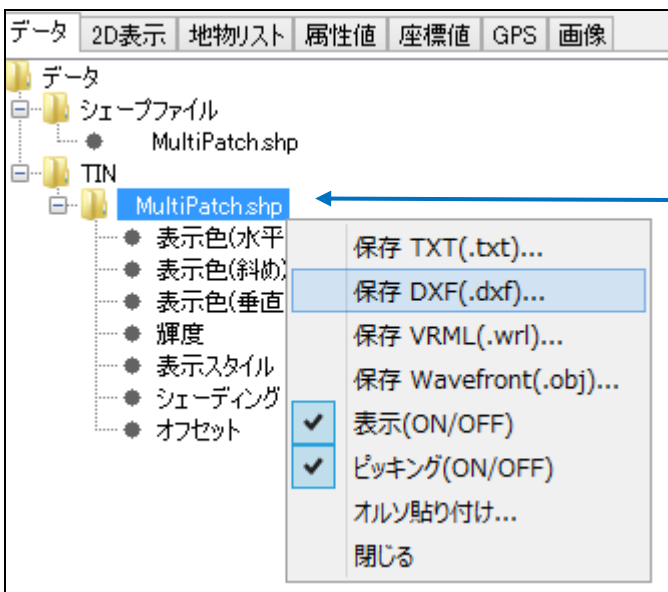


MultiPatch のシェープファイルを開く際に「ポリゴン内に TIN 作成」を指定すると、以下の「パート型」について三角ポリゴンを発生し、TIN を作成して表示します。

- トライアングル・ストリップ
- 外周リングと内部リング (外周リングの内側、内部リングの外側に三角ポリゴンを発生)



上図では、側面がトライアングル・ストリップ、上面が外周リングと内部リングの例です。線はシェープファイルに記録されている座標をそのままポリラインとして表示しています。



発生した TIN について、データパネルの TIN のノードに追加します。このノードのポップアップメニューで TIN の三角ポリゴンを保存できます。